

1. 永久機関

永久機関を創りたい。「永久機関できたから投資してくれ詐欺」
 があります。引っかけられないように！！
 不可能とわかっていても、やはり永久機関には夢があります。

かもし完成したら、エネルギーの独占や不平等が広がる可能性
 があり、本当に人々にとって必要なものなのか疑問に思った

原子力がそうであつたように、巨大なエネルギーを得ると、人は、すぐに兵器にしたがります。もしかしたら無い方がいいのかも。

しかし、エネルギーは便利であるものの悪用にも使えてしまひ、知恵が器
 的に利用せしめおのは残念だと思ふ。やはり、人が見たこと

2. フィードバック

を学びました。自分は生活中的事例として、ダイエット
 する時に正のフィードバックを実感することが出来ると思
 います。ダイエットを続けると、トレーニングをしますし有酸素運動、
 体脂肪トレーニングしたら体重が減り、自信やモチベーションが上がり
 ます。そうすればまたダイエットが続けられると思ひ

ダイエットは人間の性質を研究するのにいい素材かもしれ
 ません。フィードバックの面もありますね。体重を測るだけダイエッ
 トはちょっと違うメカニズムもあると思います。

デフレやインフレが正のフィードバックであるという話を聞いて、
 貧富の格差の話も思い出した。貧しい家で育つ→若くして働く(進学で進出)→
 貧しい家庭と築く→家計を支えるために若くして働く...という流れである。一見すると、
 負のフィードバックのようだが、実際は親より子どもの方がお金をかせぐのが
 大変に行かなく、格差は広がる一方だ。よい視点で、フィードバックが
 ありとあらうとぬけ出す

フィードバックが働くと抜け出しにくいのが問題です。貧富の格差も
 そうですね。感染症拡大のパンデミックもそうです。デフレやインフレも
 そうです。

毎日のフィードバックを考えた時に、高校の世界史の先生が話して
 いたことを思い出した。地球は今で温暖化と氷河期を繰り返している
 のだから、このままだと温暖化が繰り返されると思ひない、
 今はだんだんと気温が上昇しているから、いっしょに下がるはず
 なのだから、心配し過ぎることはない、という話だった。当時
 はなんとなく聞いてたんだけど、改めて考えると、フィードバック
 と言えるのだなと思ひました。永年機関の流れと同じ

数億年スケールでは、地球は確実に寒冷化していますし、
 数万年スケールでも、間氷期から氷期へ移行するでしょう。
 (授業ではうっかり氷河期と言ってしまいました。ごめんなさい！)

フィードバックの部分で講義の品質についてのお話しがあった。
 悪い授業についても、良い授業についても取り上げられていて、
 その通りだと思ひました。悪循環を起すのも、好循環を起すのも、
 学生の取り組み方と教員の取り組み方の相互作用で引き起
 こされるものなのだと実感した。良い授業を作るのは、ど
 ちらか一方の努力だけではなく、どちらの努力も必要なの
 だと思ひました。

学生の積極的な参加なくして良い授業はありませ
 ん！

3. 原爆・戦争

悲しい出来事だが、自分の母産まれた国で起こったのに、
 自分はその日づけすら、

3.1 原爆の投下日

しっかりと覚えていないことにびっくりしました。

原爆が投下された日と言えない若者が多いことにショック
 を受けた。人として生きてくれば、必ず知っておかなければなら
 ないことなのではないか。

3.2 広島・長崎に行くこと

原子爆弾の話で高校の修学旅行で長崎の平和記念公園に行き、千羽鶴を渡したのを思い出しました。日本人として原子爆弾投下された日と終戦日の8月15日は知って、あたりまえではないかと思った。

「広島、長崎の修学旅行先であつた学生も多うと思ひが、まじまじとこれに続けていくべきではと改めて感じ。被災者の方の痛みは理解がたいけれど、人生の中の学びとして、一度は原爆ドームを訪れ、当時の被害がどのようであったのかをこの日に焼けていと感じました。」

私は、今どきの高校生の修学旅行先は東京ディズニーランドだと思っていました。今でも、修学旅行で広島・長崎に行くのでしょうか？

2年前に原爆ドームと平和記念資料館に行つた際に、たしかに外国人の多さにびっくりしました。でも、見ているだけで、どっとなつかれたような気がして、たくさんベンチがあり、休みながら見ている人が多く、多くの人のため、しょうがないかと思つた。私は、地元が長崎に近いので、学校行事でよく原爆ドームへ行つたけれど、目をそらしながら回っていた、今の歳になって、原爆を気にすることが無かつたけど、ちゃんと学んで後に行きたいかなければならないと思つた。

見るのが辛い展示ですから。

原爆資料館の展示が「リアル」になつたと聞いて、残念に思います。リアルなものをその目で見なければ本当は知っていると云えるのでしょうか。

授業でもお話したように、見る人を増やすことができるなら、という考えだと思います。

3.3 調べた

原爆についてのマンガ『はだしのゲン』が学校図書館に入されていないという意見で議論になつている話をみました。こういった

私は高校生の時、長崎の原爆について調べ学習をしましたが、その際に原爆が落ちた日を再現した映画を見ました。授業に見た谷口玄人の経験とその映像に似た様子は地獄な感じがする光景でした。

3.4 語り継ぐ

名時の孫子を語る人が代り、今や私より、私たちの若い世代が自ら学ぶ。被爆者の声に耳を傾け、涙を起す。より未来に思ひつなげようと思つた。私もその一環として

いふ事も多くあつたと思います。また、私は長崎県出身のため、毎年、8月9日には平和学習がありまして、そこで実際に戦争を経験した人のお話を聞いたり、動画を見たりしました。その時から、私は自分が聞いた事を子供や家族に話していかなければいけないと感じています。

みなさんが、被爆者の方々のお話を直接伺える最後の世代になるでしょう。

祖父が戦争経験者なので、よく戦争の話は聞いていました。戦争の恐ろしさは、せつないに風化させてはいけません。未来にいつまでも語りつなげなければならぬものだと思います。

原爆の被災者の方の映像を観て、当時16歳と今より年齢の下の子供が聞くだけでわかるような経験をしたのだから考えると、科学は私たちの生活を豊かに進化させてくれると同時に私たちの生活を壊すことができるのだと強く感じた。

必要があつた。2011年の東日本大震災からは、自分たちは実際に経験したからよく覚えているが、この先産まれる人々は、写真や映像でしか見ることがないから、忘れないようにしてあげなければいけない。かといって、恐怖もある。

もし、語り継ぐだけで伝わらないとしたら、人類は滅亡するしか無いでしょう。